

8

月 8月8日(日) AM9:30 ~ PM4:30 受講料 / ¥10,000 (歯科衛生士の方は¥5,000)

2コース

「歯科治療における咬合の重要性」



本多 正明
本多歯科医院 院長

略歴
昭和45年 大阪歯科大学卒業
昭和47年より平成15年
Dr.Raymond Kim(南カリフォルニア大学)に師事
昭和53年 東大阪市にて本多歯科医院開設
現 在 S.J.C.D.国際ショナル 副会長
大阪S.J.C.D. 最高顧問
日本顎咬合学会 指導医
日本臨床歯周病学会 指導医



米澤 大地
米澤歯科医院 院長

略歴
平成 8年 長崎大学歯学部卒業
平成 9年 下間一洋先生(矯正専門医)に師事
平成15年 西宮市にて米澤歯科医院開設
現 在 大阪S.J.C.D. 理事
日本顎咬合学会 会員
日本臨床歯周病学会 会員
日本矯正歯科学会 会員
日本歯科審美学会 会員

近年インプラント治療や、歯周治療、審美歯科等が目覚ましい勢いで発展している。一方、それらに求められることは、長期間に渡って健康維持に役立ち、残存歯を含め他の組織も保全させることである。そのためには、炎症のコントロールとともに力のコントロールが重要である。

過去において、咬合が全盛の時代に、すべては咬合が解決するという偏った考えが横行した。その反動として、現在では咬合の重要性が軽視されているように思える。臨床において、機能回復を必要としない治療はごく稀である。今一度、咬合を見つめ直すときが来ている。

力のコントロールにおける重要な Key Word である歯列弓の保全と安定した咬頭嵌合位について述べ、また、歯のポジションの重要性についても、矯正治療と絡めてまとめてみたい。